

飯島賢二の『恐縮ですが・・・一言コラム』

第63回 うそっ！ほんと？ ... データで見るIT化

ITに関しては、このコラムでも何回も述べてきた。でもこの世界、1ヶ月過ぎると話は古くなるようで、何回述べてもいいのかもしれない。そんな自己弁護の元で、データで見るIT化を述べることにした。

2000年12月、NTTドコモ調べ「小・中学生の携帯電話調査」より。小学5・6年生の19%が携帯電話を所有、中学1・2年生は同比率が30%である。自分の意思で買ったのが42%、親が持たせたが48%である。3年以上前のデータゆえ、今は更に所有率は高いといえよう。

2001年11月、内閣府「情報化社会と青少年に関する調査」では、18歳から22歳の女性、携帯電話もしくはPHSを使っている人の割合、実に98%、本当か？

2002年12月、総務省「通信利用動向調査」、情報機器の保有率である。パソコンを持っている家庭の割合、71.1%、携帯電話は86.1%、ファクシミリ50.8%、カーナビゲーション23.8%である。

2003年度、総務省「情報通信白書」より。インターネット利用人口、6,942万人、同人口普及率54.5%、同世帯普及率81.4%、同企業普及率98.4%、事業所普及率79.1%である。もはや国民2人に1人がインターネットを利用している。いずれも前年対比、大幅にアップしている。

インターネット利用人口の国際比較、第1位がアメリカで1億6,575万人、第2位が6,942万人の日本、第3位が中国で5,910万人である。同人口普及率の国際比較は、第1位がアイルランド69.8%、第2位スウェーデン67.8%、第3位はデンマークの62.7%である。ちなみに日本は54.5%で第10位、韓国は少し上の56.2%であった。

携帯電話・PHS・ベル含め8,355万契約、このうちインターネット契約数は6,442万件、カメラ付携帯電話の契約数は2,221万件(29.3%)である。携帯インターネット普及率の国際比較、第1位日本79.2%、第2位韓国74.9%、第3位中国の33.9%であり、日本と韓国が圧倒的である。

2003年。電子情報技術産業協会調べ、パソコンの国内出荷台数、2000年1,210万台、2001年1,068万台、2002年は1千万台を切ってしまったが984万台という実績である。マルチメディア総合研究所調べで、2002年の国内パソコンシェア、NEC22.2%、富士通21.2%、ソニー11.1%がベストスリー、第4位はデルの8.1%であった。

データで見るIT化、いかがなものか。